



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月6日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ
コード番号 7280 URL <https://www.mitsuba.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 武井 良明 (TEL) 0277-52-0113
四半期報告書提出予定日 平成31年2月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	249,913	1.2	8,136	△26.7	8,073	△34.4	△2,740	—
30年3月期第3四半期	247,039	4.2	11,107	△35.1	12,311	△15.5	△5,038	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △3,770百万円(—%) 30年3月期第3四半期 △1,907百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△61.23	—
30年3月期第3四半期	△112.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	328,350	77,158	18.8
30年3月期	337,269	83,231	20.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 61,574百万円 30年3月期 68,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	336,000	△13.2	12,000	△37.2	12,000	△40.2	△3,000	—	△67.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	45,581,809株	30年3月期	45,581,809株	
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	824,021株	30年3月期	823,565株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	44,757,996株	30年3月期3Q	44,758,419株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部では景気先行きに警戒感が出始めているものの、企業収益や雇用、所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しました。

世界経済は、米国では継続した雇用拡大や個人所得の改善を受け、堅調に推移しております。欧州経済は、雇用情勢の改善を背景に個人消費が底堅く推移し、アジアや中国は堅調な輸出を背景に底堅く推移しました。しかし、第3四半期以降の米中間の貿易摩擦の加速や欧州の政治不安により、世界経済は中国を中心に減速傾向が強まっております。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は2,499億13百万円（前年同期比1.2%増）、連結営業利益は81億36百万円（前年同期比26.7%減）、連結経常利益は80億73百万円（前年同期比34.4%減）となりました。また、米国集団民事訴訟の和解金16億58百万円とカナダ集団民事訴訟原告団の包括和解金7億58百万円を特別損失に計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は27億40百万円（前年同期は50億38百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業の売上高は2,400億78百万円（前年同期比1.2%増）となり、セグメント利益は77億85百万円（前年同期比26.2%減）となりました。日本での開発費用の高止まりと、北米での乗用車販売低迷に加え、米国向け製品の関税コスト増加が主な減益要因となります。

情報サービス事業の売上高は93億62百万円（前年同期比2.6%増）となり、セグメント利益は2百万円（前年同期比99.1%減）となりました。

その他事業の売上高は50億49百万円（前年同期比16.0%増）となり、セグメント利益は3億75百万円（前年同期比91.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態に関する分析

(資産・負債・純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,283億50百万円（前連結会計年度末3,372億69百万円）となり、89億18百万円減少しました。流動資産は1,845億18百万円となり135億18百万円減少し、固定資産は、1,438億32百万円となり45億99百万円増加しました。

流動資産は、現金及び預金が215億76百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、有形固定資産が161億83百万円増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,511億92百万円（前連結会計年度末2,540億38百万円）となり、28億45百万円減少しました。流動負債は、1,239億58百万円となり155億35百万円減少し、固定負債は1,272億34百万円となり126億89百万円増加しました。

流動負債は、短期借入金が101億20百万円減少したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が126億34百万円増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、771億58百万円（前連結会計年度末832億31百万円）となり、60億73百万円減少しました。これは利益剰余金の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ204億53百万円減少し558億24百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、17億11百万円（前年同期は58百万円）となりました。この主な要因は、売上債権の増減額53億95百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、210億58百万円（前年同期は131億8百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出237億37百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、16億94百万円（前年同期は19億79百万円）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出206億1百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）連結業績予想につきましては、平成30年11月7日に発表しました予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動はありませんが、第1四半期連結会計期間より、ミツバ・モロッコ・エス・エー・アール・エル・エー・ユー、ミツバ・ルス・エル・エル・シー、ミツバ・テクラス・ターキー・オートモティブ・エー・エス他10社を連結の範囲に含めております。また、第1四半期連結会計期間より、常州士林三葉電機有限公司を持分法の適用の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,030	57,454
受取手形及び売掛金	56,325	52,467
有価証券	99	99
商品及び製品	11,450	13,067
仕掛品	5,235	7,880
原材料及び貯蔵品	25,668	29,934
その他	20,287	23,645
貸倒引当金	△61	△31
流動資産合計	198,036	184,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,795	73,045
減価償却累計額	△41,490	△45,171
建物及び構築物(純額)	24,305	27,874
機械装置及び運搬具	139,180	148,864
減価償却累計額	△104,269	△110,908
機械装置及び運搬具(純額)	34,911	37,955
工具、器具及び備品	49,449	52,221
減価償却累計額	△44,773	△47,123
工具、器具及び備品(純額)	4,675	5,097
土地	6,826	7,411
リース資産	5,367	6,226
減価償却累計額	△2,361	△2,741
リース資産(純額)	3,006	3,484
建設仮勘定	9,741	17,825
有形固定資産合計	83,466	99,650
無形固定資産		
ソフトウェア	3,720	3,235
ソフトウェア仮勘定	44	107
その他	2,021	1,955
無形固定資産合計	5,786	5,298
投資その他の資産		
投資有価証券	28,897	18,082
長期貸付金	2,364	2,265
繰延税金資産	3,348	3,221
長期前払費用	1,386	1,616
退職給付に係る資産	12,661	12,239
その他	1,472	1,474
貸倒引当金	△150	△15
投資その他の資産合計	49,980	38,884
固定資産合計	139,233	143,832
資産合計	337,269	328,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,921	29,031
短期借入金	65,636	55,515
未払金及び未払費用	25,964	22,397
未払法人税等	1,649	1,652
賞与引当金	4,468	2,355
役員賞与引当金	97	32
製品保証引当金	3,092	2,320
和解金等引当金	1,700	3,500
その他の引当金	471	674
その他	6,492	6,478
流動負債合計	139,493	123,958
固定負債		
長期借入金	104,010	116,645
長期末払金	674	524
繰延税金負債	4,947	4,344
退職給付に係る負債	1,374	1,660
その他	3,537	4,059
固定負債合計	114,544	127,234
負債合計	254,038	251,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,593	15,655
利益剰余金	45,147	40,291
自己株式	△602	△603
株主資本合計	70,024	65,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,795	394
為替換算調整勘定	△5,420	△5,123
退職給付に係る調整累計額	1,074	1,075
その他の包括利益累計額合計	△1,550	△3,654
非支配株主持分	14,757	15,583
純資産合計	83,231	77,158
負債純資産合計	337,269	328,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	247,039	249,913
売上原価	212,054	215,552
売上総利益	34,985	34,361
販売費及び一般管理費	23,878	26,224
営業利益	11,107	8,136
営業外収益		
受取利息	448	587
受取配当金	405	438
持分法による投資利益	595	809
為替差益	443	—
その他	929	882
営業外収益合計	2,822	2,717
営業外費用		
支払利息	1,024	1,213
為替差損	—	991
その他	593	575
営業外費用合計	1,618	2,780
経常利益	12,311	8,073
特別利益		
固定資産売却益	17	50
投資有価証券売却益	1,498	69
その他	6	12
特別利益合計	1,522	133
特別損失		
固定資産除却損	140	143
減損損失	59	12
製品保証引当金繰入額	2,238	—
取引調査関連損失	391	268
和解金	8,277	2,416
和解金等引当金繰入額	—	1,800
その他	292	225
特別損失合計	11,400	4,866
税金等調整前四半期純利益	2,434	3,340
法人税等	5,285	4,638
四半期純損失(△)	△2,851	△1,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,187	1,442
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,038	△2,740

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△2,851	△1,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	△2,456
為替換算調整勘定	304	114
退職給付に係る調整額	235	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	146	△118
その他の包括利益合計	944	△2,472
四半期包括利益	△1,907	△3,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,844	△4,843
非支配株主に係る四半期包括利益	1,936	1,073

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,434	3,340
減価償却費	11,906	12,600
受取利息及び受取配当金	△853	△1,026
支払利息	1,024	1,213
持分法による投資損益 (△は益)	△595	△809
有形固定資産売却損益 (△は益)	△17	△41
売上債権の増減額 (△は増加)	1,075	5,395
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,953	△8,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△148	△1,704
その他	5,898	△2,923
小計	18,769	8,012
利息及び配当金の受取額	863	1,137
利息の支払額	△871	△1,075
独禁法違反に係る罰金の支払額	△2,399	△2,399
和解金の支払額	△10,512	—
法人税等の支払額	△5,791	△3,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	58	1,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,403	△23,737
有形固定資産の売却による収入	309	532
投資有価証券の取得による支出	△5,163	△44
貸付けによる支出	△1,013	△1,842
貸付金の回収による収入	542	2,314
その他	4,620	1,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,108	△21,058
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,039	342
長期借入れによる収入	7,700	21,394
長期借入金の返済による支出	△7,536	△20,601
配当金の支払額	△671	△716
非支配株主への配当金の支払額	△2,814	△511
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△198	—
その他	△1,499	△1,601
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,979	△1,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263	△636
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,292	△21,677
現金及び現金同等物の期首残高	74,262	76,278
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,531	1,224
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,501	55,824

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	236,714	7,474	2,850	247,039	—	247,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	523	1,647	1,501	3,672	△3,672	—
計	237,238	9,122	4,351	250,712	△3,672	247,039
セグメント利益	10,545	330	195	11,072	35	11,107

(注) 1. セグメント利益の調整額35百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	239,629	7,539	2,744	249,913	—	249,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	448	1,822	2,305	4,576	△4,576	—
計	240,078	9,362	5,049	254,489	△4,576	249,913
セグメント利益	7,785	2	375	8,163	△27	8,136

(注) 1. セグメント利益の調整額△27百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。